

平成25年度「第2回山梨県男女共同参画審議会」議事録

1 日 時:平成26年3月27日(木)午前10時30分～

2 審議会出席委員

(審議会委員)松葉惇会長・伊藤ゆかり委員・小川はるみ委員・柿島美保子委員・萱原春美委員
木内清一委員・小澤廣治委員・齊藤尚子委員・信田恵三委員・堀内詠子委員
矢崎元子委員

11名出席

(事務局等) 小松企画県民部理事・小林県民生活・男女共同参画課長

中山男女共同参画総括課長補佐・丸茂男女共同参画課長補佐・志村主査

山口主任・平岩主事

(進 行) 中山男女共同参画総括課長補佐

3 会議次第

(1) 開会

(2) 企画県民部理事あいさつ

(3) 会長あいさつ

(4) 議事

報告事項

① 第3次山梨県配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する基本計画について

(5) その他

4 概 要

◇ 開 会

◇ 理事あいさつ

◇ 会長あいさつ

◇ 事務局から

・本日の会議は、委員数15名中11名が出席しており、委員の2分の1以上の出席となっていることから、山梨県男女共同参画推進条例第22条第10項の規定により、会議を開催する。

◇ 議 事(条例第22条第9項により、会長が議長)

(1)「第3次山梨県配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する基本計画」について

議 長 ●「第3次山梨県配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する基本計画」について事務局から説明願う。

事務局 ●〈「第3次山梨県配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する基本計画」について説明〉

議 長 ●質問等はあるか。

- 委員 ●この計画は非常によく出来ていると思う。議題からは外れますが、2、3年前より男女共同参画の機運がトーンダウンしているのではないかと危惧している。安倍首相も提唱しているワークライフバランス等をもっと実践してこの活動を浸透させていくことが必要はないかと感じている。また市町村の男女共同参画推進委員会がイベントなどの活動を実施しているが、県の職員が出席して県と市が一体感を持ってこの活動を進めていく体制を強化した方がいいのではないか。
- 委員 ●DVというと被害者支援が主だっていることに疑問を感じている。計画の中の15ページにあるV18—②に「加害者更正に向けた調査研究」とあるが、加害者に向けた対策はこれだけなのかと思う。原因を追求しないと、二次的な被害につながってしまうということがあるので、加害者に向けた対策が必要なのではないかと思う。
- 委員 ●DVとは少し話がはずれるかもしれないが、高齢者、障害者の関係の権利擁護という視点で、山梨県弁護士会で活発に活動がなされている。その中で高齢者虐待防止チームがあり、虐待事例があった場合にどういう形で対処していくか考えている。虐待する側の原因をしっかりと突き詰めていかないと、虐待される側の利益を最終的に守ることができない。なぜなら、身内の場合など加害者がいる場所に戻ってしまうことがあるため、被害者と加害者を完全分離できればよいが、必ずしもそうすることができない場合がある。そこで、虐待する側にどういった要因があるのか探っていくと、借金や統合失調症など精神的な問題を抱えているといったさまざまなケースがあり、虐待している側も含めたトータル的なケアを進めないと最終的な被害者保護には繋がらないということがわかった。そこで、社会福祉士や精神保健福祉士の方に関わってもらい、精神的な問題には専門の病院につなげていくといったフォローを行っていき、借金問題などについては弁護士が債務整理等のフォローにあたる。こういった形でトータル的な解決を現在目指しているところ。DVIについてもそういった視点が必要になってくるのではないかと思っている。
- 委員 ●重点目標に「外国人への配慮」という言葉がある。今後の少子化などの問題を考えると、現在の日本経済は外国人の方の協力なしではやっていけない状況にある。NPOの活動で外国人の子どものフォローを手がけたことがあるが、子どもの中には不登校になってしまったり、親同士の横の繋がりが少ないという状況が多くある。そういう子ども達が虐待を受けていたり、母親がDVにあっていたりしても、なかなか見つけ出すことができない状況。日本の家庭の中でそういった状況を突きとめるのは難しい状況なので、外国人の方はもっと表に出てこないと思う。そういう子どもや母親や外国人に地域で目を向ける努力が必要。どんなフォローができるのか、県としても考えていかなければならないと思うので、手を尽くしてほしいと思う。
- 委員 ●大学で教員が外国人の子どもの対象に健康診断などを行う活動をしている。そういった機会はDVなどを発見できる機会だと思う。NPOなどでもそういった草の根の活動が始まっていると思うが、まだネットワークが形成されていない部分があるという心配はある。
- 委員 ●地域コミュニティーがしっかりする必要がある。

(4) その他について

- 議 長 ● それでは、今までの議題以外に他に何かあるか。
- 委 員 ● 市町村には男女共同参画の推進委員会や条例がないところもある。その辺の手立てはないのか。
- 事務局 ● 地域は非常に重要なところ。いろいろなところで働きかけをしていきたい。DVの計画については、甲府市が独自の計画を策定するという話を聞いているので、少しずつ広まっているのではないかと感じている。今後もいろいろな場で働きかけを行っていきたい。
- 委 員 ● 推進委員会がないところは、そういった問題が生じないとてもよい場所ということなのかとも感じている。逆にそういう場所のいいところを引き出して事例にしてもよいのではないかと思う。今後DV被害者の支援にも携わっていきたいと考えている。
- 議 長 ● 他になにかあるか。事務局から何かあるか。
- 事務局 ● 〈山梨県男女共同参画推進センターの平成26年度の事業計画の特徴について事務局から説明〉
- 議 長 ● 以上をもって、本日の議事をすべて終了する。議事進行への協力、また2年間委員として審議いただいたことに謝礼。
- 事務局 ● 以上をもって、平成25年度第2回会男女共同参画推進審議会を閉会する。2年間委員としてご審議いただいたことに謝礼。